

はくさんろくにしたに じんせいぎれいようぐおよびみんか ようぐ
白山麓西谷の人生儀礼用具及び民家 (用具)

種 別 重要文化財 有形民俗文化財
指定年月日 昭和58年4月13日
所 在 地 小松市立博物館

白山麓西谷とは、大日川沿いの山間地域で、小松市域の旧新丸村〔新保・須納谷（花立）・丸山・小原・杖（津江）〕と旧鳥越村の一部がその地域にあたる。深い谷間に所在し、他地域の影響を受けず、特有の古風な文化・慣習が伝わっていた。

人生儀礼用具は、小原出身の伊藤常次郎氏が小原の閉町が決まった昭和34年より、旧新丸村・鳥越村の各村々で収集したものである。出生から葬送・墓制まで人生の折々の儀礼に用いられる用具で、計1,827点を数える。これらは収集地、使用年代、使用方法、名称が明確で、民俗研究上欠かせない資料である。

出産儀礼関係 妊婦が出産の際につかまる「ウブヅナ」や、臍の緒を切る竹製の「ゾンベラ」、クマザサ製の「コッペラ」等がある。

生育儀礼関係 丈夫な成長を祈って、白米や小豆を入れて子供に担がせる筒状の袋「ウチガイ」や、親の仕事中に赤子を入れておく「イズメ」など。

成人儀礼関係 女性の「初カネツケ」（お歯黒）用具や男性の鬘を結う「イイネソ」等がある。

婚姻儀礼関係 女性が出戻りしないようにと踵に茨の茎の輪をつけた「ジョオリ」や、男女の性器を薫でかたどった「ダオゾ」、「ツト」等がある。

厄年・年祝い関係 女性の33歳の厄年に使われる、身代りの薫人形（ジョコンボ）や、ジョコンボを川へ投げこむ際に載せる薫の皿（サンダワラ）など。

葬送墓制関係 死体をおさめる「ドバコ」や、ドバコを被う「ウワガン」、葬送行列で「サンマイ」（墓場）までの辻に立てる「ツジロウソク」等がある。



ウワガン

- ①コッペラ ②ウチガイ ③カネツケ用具
④ダオゾ、ツト ⑤サンダワラ、ジョコンボ